

脳 神 経 外 科

【実習目標】

一般目標:

臨床実習を受ける学生は卒業後の実地臨床に即応するために、中枢神経系の解剖、生理に関する正常の形態と機能を理解するとともに、疾患の診断、治療、経過観察などを総合的に学習し、疾患をもつ人間へのアプローチを修得する。

項目別行動目標:

- ① 病歴聴取, 身体観察
患者さんから病気, 病態に関係する情報を得るために必要な態度, 技能を修得する。
- ② 中枢神経系の解剖, 生理
脳神経外科で扱うことの多い中枢神経系の腫瘍, 血管障害, 外傷などのいずれの疾患でも, 脳および脊髄における病変部分の局在診断は極めて重要である。病態診断に役立てられる様に, 中枢神経系の解剖, 生理に関する正常の形態と機能を十分に理解する。
 - ・頭蓋内の構造物について, その名称, 機能を説明できる。
 - ・症状から病変部位を推定できる。
 - ・患者さんの病態を説明できる。
- ③ 主要疾患の診断(補助検査法)
主要疾患の診断の上で画像診断は特に重要である。頭蓋および脊椎単純写、CT、MRI、DSAなど諸検査の正常ならびに異常所見を把握できるように、画像診断の知識を修得し、読影力を養う。
 - ・画像診断機器の原理, 機能, 長所, 短所を説明できる。
 - ・画像診断上, 正常構造物の読影ができる。
 - ・画像診断上, 正常, 異常を判別できる。
 - ・画像診断上の異常所見と臨床症状を関連づけることができる。
- ④ 主要疾患の病態と治療
中枢神経系の腫瘍, 血管障害, 外傷, 機能的疾患, 奇形などの主要疾患について, その病態と治療法を修得する。手術については, 参加, 見学を中心に行う。
 - ・主要疾患の病態を理解できる。
 - ・主要疾患の治療法について説明できる。
 - ・手術の目的, 方法を説明できる。
 - ・術野における構造物の名称, 機能を説明できる。
- ⑤ 術前, 術後の患者管理
脳神経外科疾患の術前, 術後の管理法や合併症について修得する。
 - ・術前の検査, 処置の意義を説明できる。
 - ・術前後に患者管理の上で, 特に頭蓋内疾患の場合, 注意すべき事柄を列挙できる。
 - ・合併症に対する処置を説明できる。

【実習内容】

各種疾患に対する診断, 治療, 経過観察のプロセスを総合的に学習するために, 担当教員以外に, さらに割当患者の主治医を副指導医として, その任にあてる。各自1人の入院患者さんを受け持ちレポートを作成する。

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---------------------|--------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|----------------------|------------------------------------|
| 8:00 | カンファレンス室集合 | カンファレンス室集合 | カンファレンス室集合 | 手術室 | カンファレンス室集合 |
| 8:00 ~ 12:00 | オリエンテーション 患者割当 手術(参加・見学) | 病棟回診 脳血管撮影見学 ガンマナイフ治療見学 | 病棟実習 | 9:00~ 手術(参加・見学) | 脳血管撮影見学 または MRI見学 MRI口頭試問 |
| 13:00 ~ 17:00 | 手術(参加・見学) MRI読影自習 | CT見学 MRI読影自習 | 脳血管内手術見学 (脳血管撮影見学) MRI読影自習 | 手術(参加・見学) MRI読影自習 | 総括 レポート作成 |

【注意事項】

① 集合場所

午前8時に臨床研究棟6階、脳神経外科医局カンファレンスルームに集合。
(ただし木曜日は午前9時に直接手術室へ入り担当教官に声をかけること)

② 服装

学生諸君は臨床実習とはいえ、一般社会人に接するわけであるから、医師としてふさわしい服装とし、身だしなみにも十分注意する(半袖白衣の下に長袖着用や柄物のTシャツ着用は避けてください)。すなわち、必ずネームプレートをつけた白衣を着用し、頭髪は清潔にすること、靴を履くこと(下駄、サンダルは禁止)。男性は襟付きシャツもしくはケーシー着用が望ましい。爪は適切な長さに切っておくこと。

③ 患者さんへの態度

常に実習させていただくという謙虚な態度が重要である。言葉使いは特に大切であり、患者さんに不快感を与えないことを心がけること。患者さんのプライバシー保護にも留意すること。

④ 持参品

白衣、聴診器、教科書、講義プリント、講義ノート、学生証など。

⑤ 救急患者実習

前記時間帯以外に、救急患者に対する緊急検査、処置、手術に参加してもらうことがある。

【実習評価】

MRI読影に関して口頭試問を行い画像読影修得度を評価する。

ケースレポートを提出し、理解度、臨床実習の取り組み方、実習態度を評価する。

レポートには疾患、病態、検査所見、鑑別診断、治療法、問題点、考察、および参考文献を記述すること。

レポートは次々週月曜日までに脳神経外科医局(臨床棟6階)まで持参し、提出すること。

【教員】担当教官

栗栖 薫 大学院医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 教授
井川 房夫 大学院医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 准教授
飯田 幸治 脳・神経・精神診療科 講師
山崎 文之 脳・神経・精神診療科 講師
坂本 繁幸 脳・神経・精神診療科 助教
岡崎 貴仁 脳・神経・精神診療科 助教
武田 正明 脳・神経・精神診療科 助教
木下 康之 大学院医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 助教
光原崇文 大学院医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 助教

【連絡先】

脳神経外科医局 内線 5227 外線 082-257-5227

学生担当 光原崇文(研究院籍) t_mitsuhara@yahoo.co.jp